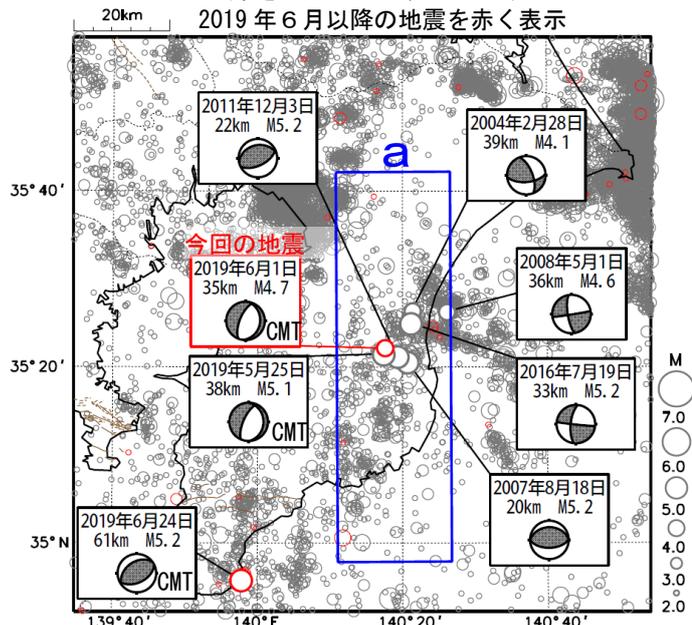


6月1日 千葉県北東部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年6月30日、
 深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
 2019年6月以降の地震を赤く表示

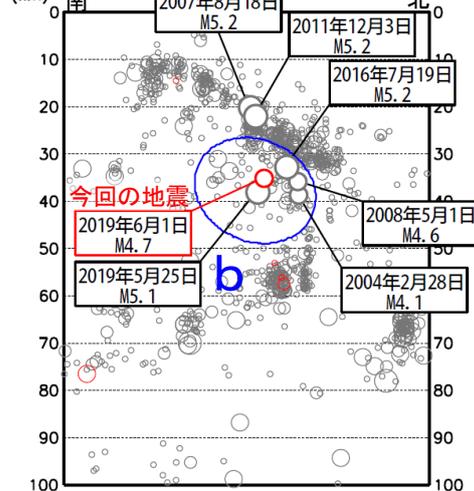


2019年6月1日07時58分に千葉県北東部の深さ35kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。なお、この地震の1週間前の5月25日15時20分にもほぼ同じ場所の深さ38kmでM5.1の地震（最大震度5弱）が発生し、軽傷者1人の被害が生じた（6月3日現在、総務省消防庁による）。

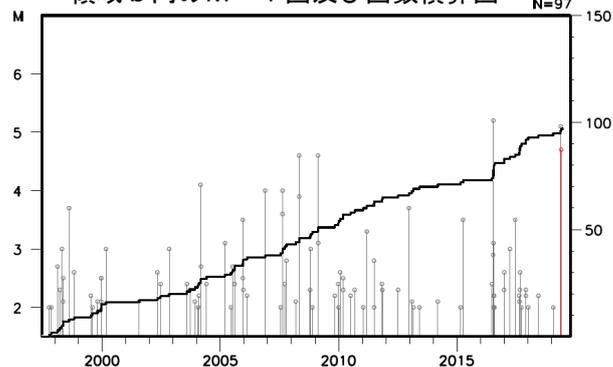
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、あまり地震活動が活発ではないものの、M4.0からM5.0程度の地震が時々発生しており、2016年7月19日には、深さ33kmでM5.2の地震（最大震度4）があった。なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、まとまった地震活動が時々みられる。今回の地震は、これらの地震活動よりも深い位置で発生した。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震（最大震度5）では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

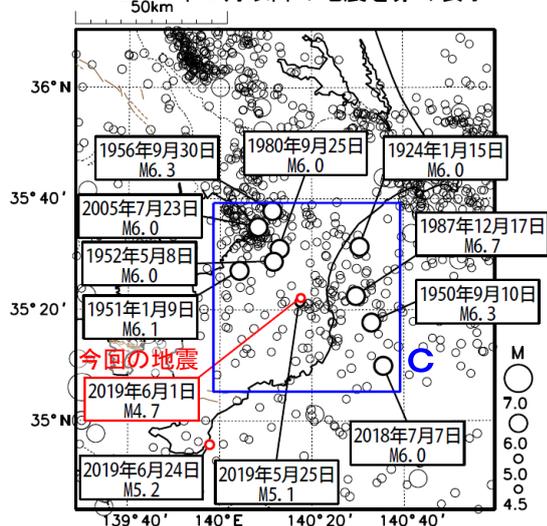
領域a内の断面図（南北投影）



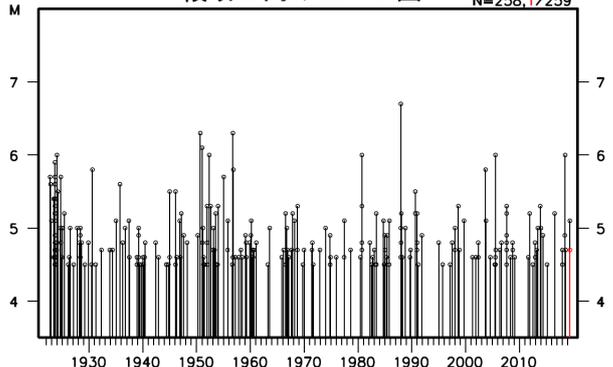
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年6月30日、
 深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
 2019年6月以降の地震を赤く表示



領域c内のM-T図



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。